

射水市立新湊小学校 令和5年3月14日



はまっこ

令和4年度—第12号 校長 竹林 浩樹



成長を実感

～チャレンジ・チェンジ～

弥生の空が美しく晴れ渡り、少しずつ暖かさを感じる季節となりました。

毎朝、児童玄関前で子供たちを迎えています。先月の末頃から通学路に落ちているゴミを拾ってくる児童が増えました。「今日も拾ってきたよ」「まちがきれいになっているね」とSDGs目標11の「住み続けられるまちづくりを～私たちにできること～」に取り組んでいることに、子供たちはちょっと誇らしげです。



オミクロン株の急激な感染拡大で、県内のコロナ感染者数が1,000人超えを記録した7月～1月、そしてインフルエンザによる休校が相次いだ2月もなんとか乗り越え、今年度もあと少しとなりました。先の見えない中でのコロナとインフルエンザウイルスとの闘いでしたが、保護者や地域の皆様のご理解をいただきながら、学校はできるだけ通常に近い形で学習を進めていくことができました。検温や不織布マスクの着用の協力等、感染防止対策を徹底していただきましたことに深く感謝申し上げます。

さて、子供たちの元気な声、汗を流して一生懸命遊ぶ姿、友達と一緒にできたときの心からの笑顔は、学校の中だけでなく、家庭や地域で、暗い雰囲気のある社会に新たな元気を呼び起こしてくれたと思います。どんなときも、子供たちの明るい笑顔や元気は社会の支えになります。今後のことは、まだまだ不透明なことも多くありますが、学校は子供たちにとって、楽しく学習できる場であるよう、教職員一同創意工夫しながら学校づくりをしていきたいと思えます。

3月17日は卒業式です。6年生は、1年生のお世話から、委員会やクラブ活動のリーダーとして、また、本年度研究指定校「金銭教育」の推進役として見事に最高学年としての責を果たしてくれました。6年生の活動1つ1つが、日を追うごとに頼もしく感じられた1年でした。また、3年ぶり全校児童一堂に会した「卒業を祝う会」を見事成功に導いた5年生。それに続いた4年生から1年生も、学習面や生活面で随分と成長した1年となりました。

最後になりますが、この1年間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動にたくさんのお力添えをいただきました。この紙面を借りて深くお礼申し上げます。創校150周年を迎えます新年度もよろしくお願いいたします。

SNSやゲームと上手に付き合おう わが家のルールづくり

保健委員会では、「SNSやゲームとの上手な付き合い方」をテーマに全校放送をしました。子供たちは、SNSやゲームをやり過ぎると、①目が悪くなること、②遅刻が増えること、③疲れやすくなること、④イライラすることが増えることを学びました。「ゲーム・SNS依存症」の怖さも教えてもらい、SNSやゲームと上手に付き合うことを約束しました。保護者の皆様には「わが家のルールづくり」を通して、ご協力いただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



感動「卒業を祝う会」



今月2日（木）に、「今までたくさんお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えよう」をスローガンに、5年生が中心となって企画・運営しました。1年生から5年生は、工夫を凝らして出し物やゲームをしたりプレゼントを贈ったりしました。

3年ぶりに全校児童が揃っての祝う会は、みんなが気持ちを一つにして「6年生を心からお祝いしよう」「在校生に思いを引き継ごう」と和やかな時間となりました。



【感謝の思いを伝えた祝う会】

「とやま環境賞」ジュニア活動賞受賞

3月11日（土）、富山・水・文化の財団が開催する「とやま環境賞」表彰式が富山テレビ放送局であり、本校の「はまっこプロジェクト隊」が「ジュニア活動賞」を受賞しました。「とやま環境賞」表彰式は今回で27回目を迎え、地域にあって環境を見つめ、環境の維持と保全に取り組み、他の模範となる活動をしている個人・団体に贈られます。新湊小学校「はまっこプロジェクト隊」は、4年生が「環境保全・節電」をテーマに掲げ、「無理なく、ムダなく、優しく、楽しく」を合言葉に、全校児童と教職員、家庭を巻き込み、節電に関する持続可能な校内環境や意識づくりに貢献した取組が評価されました。受賞式には、三木教諭をはじめ、4年生代表で荒木美さんと小島さんと金澤さんの3人が参加しました。



1年生「卒業を祝う会」 お世話になった6年生と伝言ゲームを楽しみました。



2年生 国際交流員を招いて、アメリカの食事や生活の様子を学びました。

本校ホームページは
こちらへ



6年生 放生津小学校6年生とオンライン交流（左）と卒業記念ボランティア（右）

